広報
NISHIWAGA PUBLIC RELATIONS

にしわが

7月号 No.92
2013（平成25年）

「広報にしわが」は西和賀町のホームページでも公開しています。
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/
西和賀町　検索

今月の内容

地域医療講演会ほか……2～4P
新病院起工式・消防業務感謝状……5P
西和賀町消防操法大会……6P
銀河高原雪氷まつりほか……7P
ダム湖周辺パトロールほか……8P
老人クラブキノコ栽培ほか……9P
入札結果・放射線量検査結果ほか……11P
スポーツ結果……12P
地域レーダー……13P
みんなのページ……15P
お知らせ……16～17P

町シニアスポーツ大会

6月28日、町のシニアスポーツ大会が湯田農業者トレーニングセンターで行われました。今年から「シルバー」から「シニア」に名前も変更され、気分を新たに競技に打ち込みました。ゲートボールリレーは北上地区大会でも上位独占する本町の得意種目です。（関連記事：12P）

生命行政の構築・これからの地域医療を考える

地域医療講演会&命をつなぐ復興支援コンサート

町は6月23日、銀河ホールで「地域医療講演会&命をつなぐ復興支援コンサート」を行ないました。来年9月に開院される新病院建設の着工を機に、これからの地域医療の在り方や少子高齢化が進む町の医療や将来、命の尊さを考える機会として企画され、町内外から約270人が参加しました。細井洋行町長は「新病院が来年6月末の完成を目指して着工しました。地域医療の先駆的な役割を担ってきた西和賀だが、医療を取り巻く環境が大きく変わってきている。行政や病院はもとより、住民のみなさんも新たな医療の在り方と向き合わなくてはいけない」とあいさつをしました。

あいさつする細井町長

講演会は二部構成で行なわれ、第一部では県立中部病院の北村道彦院長が「これからの医療を考える－中部病院の4年間の振返りと新しいチーム医療の展開－」と題した講演を行ないました。北村先生は、中部病院が病院間、病院と診療所間の役割分担をもとに、紹介型、急性期、入院医療中心の運営が軌道に乗るまでの取り組みや今後の人口動態の変化を念頭においた医療、福祉計画立案が必要であること。それには、政治家や官僚だけでなく医療専門職、患者、住民、メディア、医療関連企業、研究者などすべての人々が意見を出し合い、同じ目標を持って達成のための業務を遂行していく「医療ガバナンス」を作り上げることが大切と訴えました。

第二部では「千の音色でつなぐ絆コンサート」として陸前高田の被災松を使って作ったバイオリンによるコンサートが行なわれました。

この企画は東日本大震災の被害者支援のために、ヴァイオリンドクターの中澤宗幸氏が被災地で生まれた育ったヴァイオリンを製作し、このプロジェクトを支援する「命をつなぐ木魂（こだま）の会」（又川俊三会長・盛岡市）により、世界各地で行なわれています。被災地で生まれた楽器の演奏を通して被災された方を励まし、亡くなられた方の鎮魂に祈りを捧げ、大震災を風化させずに世代を超えて語りつないでいくことを目的に行なわれています。ヴァイオリンの表板と裏板を直接つなげる唯一の棒である魂柱に被災松が使われています。演奏は盛岡市在住のバイオリニストの田口博子さんとピアニストの雫石環さんが「椰子の実」や「花は咲く」など9曲を演奏しました。会場は優しい音色に包まれ、演奏が終わると会場からはたくさんの拍手が沸き起こりました。

優しい音色が会場を包みます

ヴァイオリンを演奏する田口さん（左）とピアノを演奏する雫石さん

ヴァイオリンを近くで見ることができました

基調講演

演題 「これからの医療を考える」
ー中部病院の4年間の振返りー

岩手県立中部病院 病院長 北村 道彦 氏

北村道彦院長

主な経歴

昭和49年3月	東北大学医学部卒業
昭和58年9月	医学博士
平成元年4月	秋田大学医学部 第二外科助教授
平成4年10月～平成5年8月	文部省在外研究員（米国、ドイツ留学）
平成10年5月	岩手県立胆沢病院副院長 心得兼外科長
平成20年11月	岩手県立北上病院並びに県立花巻厚生病院総括副院長
平成21年4月～	岩手県立中部病院院長

中部病院の位置付けと開院後4年間の振り返り

岩手県は、県立病院が全国で一番多い。昭和23年に色々な病院を集めて20病院と8診療所、総ベットが約5000、医師数600人、職員数が約5000人。創業精神は、県下にあまねく医療の均定で、県下すべてに医療がおよぶようにと始められた。とは言っても、西和賀からは中部病院まで1時間はかかってしまうことは申し訳なく思っている。一方では、沢内村を見るとこちらのほうが医療が進んでいたのではないかと感じている。

そんな中、4年前の平成21年に北上病院と花巻厚生病院の2つの県立病院が統合し中部病院ができた。病床数は434床で、両方の病院の病床を合せた数より縮小し、標榜科は25で対象人口は西和賀町も入れて24万人。病院の使命は、連係を軸にした紹介、急性期、入院中心の機関病院の展開だった。全部見てくれという話しがたくさんあったし、我々も全部見たかったが色々な事情により限られた医療の分野をやることになった。

実は、中部地区24万人の対象人口地域で、勤務医の数が県内9つの医療圏の中で一番少ない。診療所が多く、なかなか病院単独で診療ができない。隣の胆江地区は病院の医者が多いというような地域の様々な事情があり、中部地区は現在のような急性期、紹介型でいくということになった。

開院に向けては、救急や看護ケアに一生懸命取り組んでいくことや麻酔科や病理に常勤の先生を配置し、研修で若い医者を育てる、地域医療の支援をしっかりやり連係機能を充実させる、電子カルテなどの情報システムの管理、災害支援拠点など色々構想があった。そして、私が一番重要と考えているのは働きがいのある職場環境にすることだった。

昨年、歯科衛生士と臨床心理士を配置した。急性期の病院であるが、予防活動や福祉分野に少しずつ力を入れている。実は、深澤村長が医療を色々変えていくときのキーパーソンが歯科衛生士だった。かなり時を経てまた歯科衛生士が注目されてきている。当時、それに気づいた深澤村長はすばらしく、現在にも活かされている。

病院の状況は、紹介型の病院にして現在は約7割は紹介状を持ってきてもらっている。その理由は、例えば手術中に患者さんが来ても見ることができないなどがないように、なるべく予約制でやっている。治療が終わった後の逆紹介率も上がっている。新しい患者さんがすごく減ったし、1日平均の患者さんも減らし、当初の役割分担もしっかりとできてきた。入院は、総患者数と1日平均の数も少しずつ増えている。注目してもらいたいのは平均在院日数で、どんどん短くなっていること。効率よい医療をやっていこう、治療が終わったら地域の病院で見てもらおうという流れでやっている結果。手術数や抗がん剤使用、放射線治療も北上病院と比べ増えている。救急車やドクターヘリの乗り入れも多く、これらを見ても急性期、救急病院の役割を担っていると言える。

臨床研修制度

若い医者を育てるということがどういうことか。これは医療改革という大きなメッセージが込められている。臨床研修制度が開始されたのが平成16年。これは専門重視や人格的問題があるなどの医師が多くなったことを理由に、平成12年に法律が改正された。その中で幅広い知識経験を身につけるために地域医療研修が必修になり、沢内病院にはその研修でお世話になっている。研修医を育てるために我々指導医も勉強するし、年に2回こちらに来て研修医の様子や発表を聞くと結構地域を見ていると感じる。

チーム医療の新しい考え方

医療はここ10～15年で大きな変化がある。お任せの医療からパートナーシップの医療へ、患者さんの意見を聞きな

がら進める医療に大きく変わった。まだ、医者に任せるというのもあるが、意見を聞く医療に変わった。私が胆沢病院に赴任したときのがんの告知はゼロだったが、今は告知をするようになった。あらかじめ告知をして欲しくない患者さんには対応するが、自分で色々な方法を選んでもらう時代になっている。自分としては気が楽になったのであるが、本当にこれでいいのか議論はあるのだが、現時点ではみなさんと一緒に歩む医療を目指していきたいと思う。

また、医師、看護師中心の少数精鋭の医療から、多職種多数精鋭連係の医療に変わった。昔は健康な患者さんが対象だったが、現在は高齢化が進み、そうでなくなった。医師と看護師中心の医療だと、医師が倒れてしまうと医療崩壊につながる。出来高払いから包括払いへと支払い方法も変わっている。

これからのチーム医療は、ピラミット型の医療からフラットな組織で多職種で行なわれチーム力重視となりつつある。急性期の中部病院でも入院患者さんが超高齢化率（80歳以上）が21％まで上がっていて約３００人が増加していることになる。また、入院患者さんの床ずれは45％が在宅で発症していることが分かった。院内と院外の発症率がほぼ同じというのが分かり、病院だけでなく家庭や地域全体で病気の管理をしていかなくてはいけない。

これからの高齢者医療を考えていく中で、予防から治療、リハビリもひとつの枠で考えようとなっている。「２０２５年問題」という言葉があり、75歳以上の単身世代と夫婦組世代の割合が約25％上がるという統計がでている。つまり団塊の世代が80～85歳になったときをどのように乗り切っていくかが問題視されている。年金や医療、介護の費用がどんどん増えていくことになる。病床数を見ても全国的に急性期の病院が多く、これらも少しずつ改善していく必要がでてくる。これから病院をつくる場合は、どういう機能を病院に期待するのか、高齢化率や疾病構造などを分析していく必要がでてくる。

１０００人当たりの受診行動のデータから、必ずしも大学病院や一般病床で入院をカバーする範囲は決して多くはない。健康を考えたときに、圧倒的に症状がある人は外来を受診する人が多く、開業医や診療所、小規模病院が住民の健康、特に予防の領域は重症化防止の面で大きな役割を持っている。どうしても大学や急性期医療の方が注目されるが、実際の健康を守るという意味からすると、地域に根ざした医療の方が非常に重要となる。

これからのチーム医療は、患者さんの生き方を真ん中に置いて、患者さんも一緒の輪となって考えていくことが必要で、患者さん自身も我々と一緒のチームとなる。

医学は医療者に責任があるが、医療はみなさんにも一緒に責任を持っていただきながら進めていくべきで、みなさんが主人公だ。

医療ガバナンス

医療ガバナンスとは、政治家や官僚だけでなく医療専門職、患者、住民、メディア、医療関係企業、研究者などが意見を出し合い、同じ目標を持って達成のための業務を遂行していくことである。みんなが責任を持って、みんなが参加する医療をこれからやっていく。今、医療福祉は大きな転換期にきている。この地でかつて行なわれていた医療はまさに医療ガバナンスだった。これからも住民主導の医療を築いていこう。新しいチーム医療では、患者さんの健康問題、生き方を中心にし、平等な体制で治療を行なっていく。全員が参加のつもりで医療に対して一緒になることが大切である。

最後に

町の今の現状は非常に厳しい状況であるが、基本に戻り、過去の見本を見ることも必要だと思う。そうすれば必ずよくなると思うし、そのためにはみなさん全員が参加し、医療に対して意見を言っていくことが重要である。

新病院の建設が始まりました。来年６月末完成、９月に開院の予定です。
地域医療の在り方を再確認する講演会となりました。

新病院建設安全祈願祭

来年9月開院に向け本格的に工事がスタート

来年9月の開院予定の新病院建設安全祈願祭が6月21日、大野の建設予定地で関係者約50人が参加して行なわれました。

安全祈願祭には、町や町議会、病院や工事関係者が出席し、神事で安全を祈願しました。細井洋行町長は「新病院の建設については、町の将来や財政展望を見ても今をおいて機会がないだろうと決意した半世紀に一度の大事業。新病院が地域においては、役割をしっかり果たせる機能を持たなければいけないという大きな責任を感じている。今後は大変高いハードルに挑戦する決意を持ち、さらにがんばっていきたい。工事が安全に進み、町民の熱い期待に応えられる病院ができることを期待する」とあいさつしました。

新病院の完成外観（断面）

鍬入れをする細井町長

新病院は、敷地面積が約2.5ヘクタールで、病院棟は鉄筋コンクリート造り2階建て、述べ床面積は約4640平方メートル、機械棟が鉄骨造り2階建て、述べ床面積約470平方メートルで、完成すると現在の病院と比べ、述べ床面積で約2倍の大きさになります。建物本体の建設工事費は約17億4000万円です。

1階には医科と歯科の外来診察室と薬局、放射線、検査、リハビリテーション、地域包括支援センター、健診、救急などの機能、2階には、病棟や透析、医局などを配置します。外壁などには町内産の木材を使用するほか、木質チップボイラーを導入し、町内の再生可能エネルギーの活用も行ないます。

今後は、町、監理担当者、施工者などの工事関係者による定例会議を月1回以上行ない、進捗状況などを確認しながら工事が進められていきます。

6人の連携プレーで人命救助

北上地区消防組合消防本部より感謝状

6月17日、太田老人福祉センターで人命救助による消防長感謝状の贈呈が行われました。感謝状の贈呈を受けたのは、いずれも貝沢地区の岩井貞一さん、岩井リヨさん、北村嗣雄さん、吉田信夫さん、北村運一さん、北村美喜子さんの6人。当日は、都合で欠席したリヨさん以外の5人へ鈴木和夫消防長から感謝状が手渡されました。

感謝状の贈呈を受けた左前から吉田さん、嗣雄さん、貞一さん、左後から運一さん、美喜子さん

事故が発生したのは5月31日午後1時ごろ。リヨさんが長橋川から叫び声がするのに気づき行ってみると、軽乗用車が転落し、川の中で男性が車の下敷きになっているのを発見。すぐに夫の貞一さんと近くを通り掛った嗣雄さんに連絡しました。貞一さんはバックホーで現場に向かい、嗣雄さんと吉田さん、運一さん、美喜子さんと救助スペースを確保するために周囲の木々の伐採や通報、誘導などそれぞれが必要な任務を担い、短時間でスムーズな救助活動の支援を行なったものです。貞一さんは「一人ではできない救助活動だった。個々が役割を持ち、連携プレーがあったからこそ命を守ることができた」と話し、当時を振り返りました。

鈴木消防長は「発見、通報、救助環境の整備を地域の連携プレーで行ない、冷静沈着な対応によって男性も救われた。今後とも消防行政に協力をお願いしたい」と受賞を讃えました。

西和賀町消防操法競技会

消防技術と士気の競い合い

6月30日、錦秋湖グラウンド脇の駐車場を会場に、第7回西和賀町消防操法競技会が行われました。

この競技会は、消防機械器具操作の習熟と初期消火技術の向上を目的として行われており、各団からの出場チームが日頃の訓練の成果を競い合いました。

競技は消防団各部対抗で行われ、ポンプ車操法の部に5隊、小型ポンプ操法の部に18隊が出場しました。ポンプ車操法の部では1隊5人、小型ポンプの部では1隊4人で、動力消防ポンプから消火ホースを延長し、炎に見立てた標的に放水。水圧で標的を倒すまでの計測時間のほか、ホースや器具の踏みつけやけとばし、落下がないかなど動作の正確さや、隊員の士気の高さなども評価の対象となります。

糯田団長

開会式では糯田勉消防団長（川尻）が「西和賀町の頂点を目指し、日頃の訓練の成果を充分に発揮して欲しい」とあいさつし、団員を激励。出場選手を代表して4分団2部（太田）指揮者の佐々木保弘さんが「最後まで全力で競技することを誓う」と宣誓を行ないました。

競技が開始されると、この日のために連日練習に励んできた操作員は、きびきびとした動きと大きなかけ声を出しながら操法に取り組みました。

競技会の結果、ポンプ車操法の部では6分団1部（川舟）が、小型ポンプの部では3分団1部（大野）が優勝に輝きました。

高橋西和賀消防署長

審査長の高橋勤西和賀消防署長からは「今年は操作員の交代があったチームと無かったチームとの点数の開きはあったが、操作についてはおおむねよかったと思う。来年の大会に向けてさらに訓練に励んで欲しい」との講評がありました。

【操法大会結果】（上位3位まで）

▶ポンプ車操法の部

①6分団1部（川舟）　②1分団1部（川尻）　③3分団2部（新町）

▶小型ポンプ操法の部

①3分団1部（大野）　②4分団1部（前郷）　③6分団3部（貝沢）

【最優秀個人賞】（敬称略）

▶ポンプ車操法の部

指揮者・佐藤和雄（6分団1部班長）　1番員・飯野博康（1分団1部班長）
2番員・北島友和（3分団2部団員）　3番員・平澤和行（5分団2部団員）
4番員・石川伸也（6分団1部団員）

▶小型ポンプ操法の部

指揮者・田中　勲（6分団3部班長）　1番員・大島浩輝（3分団1部団員）
2番員・掃部恭祐（4分団1部団員）　3番員・黒澤　清（2分団2部班長）

西和賀町山開き　今年は真昼岳で

６月30日、真昼岳で西和賀町山開きが行われました。
山開きには、関係者や登山愛好者など町内外から約50人が参加。真昼岳兎平登山口で山開き式を行ない、西和賀山岳会の高橋二雄副会長（猿橋）から注意事項や登山道の状況などが説明されました。その後、今シーズンの安全を祈願し、町や県、岩手南部森林管理署、北上警察署、西和賀山岳会の関係者によるテープカットを行い、登山が開始されました。当日は曇り空で天気が心配されましたが、次第に晴れ間が広がり絶好の登山日和となりました。頂上に到着後は、周りの景色を楽しんだり、記念写真を撮ったり、昼食を取るなどして初登山を楽しんでいました。
真昼岳は標高1059メートルで、登山時間の目安は登りで２時間30分、下り２時間ほどかかります。

爽やかな笑顔で記念写真（頂上にて）

恒例の真夏の雪遊び　銀河高原雪氷まつり

７月14日、沢内銀河高原ホテル前特設会場で銀河高原雪氷まつりが行われました。冬に降った雪を貯蔵し、真夏にこの雪を使ったまつりが楽しめる雪氷まつりは26回目を数え、地ビールをはじめとする飲食コーナーが大好評の銀河高原まつりと一緒に開催するということで、町内外から多くの来場者が訪れました。
当日はあいにくの雨模様でしたが、恒例の雪山すべり台や雪球ストラックアウトチャレンジなどには多くの子ども達が訪れ、真夏の雪遊びを楽しんでいました。そのほか、雪氷みこしや「アンダーパス」のコンサートなどが行われ、会場は盛り上がりを見せていました。
物産コーナーでは取れたばかりの野菜や花などが、飲食コーナーでは西和賀牛のステーキやキュウリの１本漬けなど西和賀の名産が取り揃えられたほか、おなじみの銀河ビールが１００円で飲めるということで多くの人で賑わっていました。

雨でも雪氷すべり台は大人気

たくましく育て町の宝・成長の証に

スイートベイビー健やかに⑪

伊藤　聡吾（そうご）ちゃん（恭兵さん･朋美さん／猿橋）

町は、赤ちゃんの誕生を祝い、健やかな成長を祈念して足形や名前、生年月日などをガラスに彫り込んだ写真立てを贈っています。
贈呈した赤ちゃんを紹介します。
（平成25年7月22日現在・カッコ内は父母と地区）

スイートベイビー（記念品贈呈）について申請方法など詳しくはお問い合わせください
◆**問い合わせ先**　総務課　☎82-3281

加藤さん･佐藤さんが県陸協功労賞を受賞

町陸上競技協会の加藤雄一さん（大渡）と佐藤昭十四さん（湯本）が６月22日、岩手県陸上競技選手権大会の会場において「岩手県陸上競技協会功労賞」を受賞されました。
この賞は長年にわたり県の陸上競技の発展に寄与した人に贈られるものです。お二人は、競技者として中･長距離選手として県内外で活躍したほか、30年以上の長きにわたり競技審判員を務め、各種大会の運営や青少年の健全育成普及に尽力してきた功績が認められたものです。現在も、シーズン中は毎週のように各種大会に足を運び、スムーズな大会運営に尽力されています。

受賞を喜ぶ加藤さん（左）と佐藤さん

錦秋湖の観光ポイントを確認
湯田ダム湖景観合同点検を実施

町や町観光協会、川尻観光協会、岩手県、北上川ダム統合管理事務所湯田ダム管理支所による湯田ダム湖景観合同点検が7月8日、錦秋湖周辺で行なわれました。

合同点検には関係機関、団体から15人が参加。錦秋湖の優れた景観を保全し、町民や観光客の憩いの場として、また、観光客の散策コースおよび展望ポイントを紹介するため、ポイントとなる6ヶ所の点検を行ないました。点検では、樹木が生い茂りダム湖が見えなくなっている箇所や、観光ビューポイントの駐車場の状況などを確認し、間伐方法や整備について協議が行なわれました。

湯田ダム錦秋湖は昭和39年に完成して以来50年が経過。建設当時は併走する国道107号から湖畔一体が眺望できるポイントが多くありましたが、年数を重ねるに連れ、樹木の成長により湖面を望める場所が限られてきています。また、交通量の増加により駐車できる場所が限られるなどの問題が出てきており、住民や関係団体から要望が出されていました。

今後は、点検結果を整理し、それぞれ管理する機関で優先順位を決め、可能な場所から整備を進めていきます。

また、7月9日には湯田ダム湖畔の整備について、町から北上川ダム統合管理事務所へ要望書が提出されました。

観光ビューポイントを念入りに点検

高橋智副町長から湯田ダム管理支所の細田文一支所長へ要望書が手渡されました

暮らしと命を守る農地を
町農業委員会が農地パトロールを実施

町農業委員会（高橋昭貴会長・太田）は7月16日、岩手県農業会議で制定した「農地の日」（7月15日）にちなんで、農地パトロールを行ないました。当日は農業委員や関係者約30人が集まり、湯田庁舎前で出発式を行ないました。

高橋会長は「遊休農地の減少に向けた取り組み。お互いにそれぞれの地区において、少しでも遊休農地をなくすため知恵を出して欲しい」とあいさつ。細井町長が「町は遊休農地が減少されてきている。農地という財産を維持し、生産活動を保持していける取り組みを今後もお願いしたい」と激励しました。

パトロールは、今後検証を必要とする町内の遊休農地や転用候補地、観光農園予定地などを巡回し、今後の検討課題の材料としていきます。

岩手県農業会議では、全国で初めて本年から毎年7月15日を「農地の日」に設定し、岩手県下一斉の活動日としています。町農業委員会では、「農地の日」の関連事業として6月13日に子どもの畑「食育園」での野菜苗の定植作業を行ないました。

出発前の集合写真

和賀川の清流を守る会
すばらしい環境を守るために

北上市と西和賀町の関係団体などで組織する和賀川の清流を守る会（会長・高橋敏彦北上市長）は7月10日、恒例の河川周辺の清掃および不法投棄撲滅のパトロールを行ないました。

清掃活動には、和賀川流域にある28の企業や団体から約70人が参加。3班編成になり、蛭山や八年橋、槻沢付近の河川清掃と町内のパトロールを行ないました。当日は、前日までの雨により水量が多かったものの、参加者は広範囲におよぶ箇所を隅々まで清掃しました。

この活動は、年2回行なわれており、今回は和賀川上流の西和賀町の区域を、秋には下流の北上市の区域の清掃を行なう予定です。

いつまでもきれいな和賀川に

生産活動で生きがいづくり 町老人クラブ連合会でキノコの原木栽培

町老人クラブ連合会（小田島三夫会長・湯本）では、今年度からナメコやヒラタケの原木栽培を行なっています。

この活動は、生きがいと健康づくりの推進のため、生産活動を通じて交流の場づくりと若手会員の活躍の場づくりを、また、採れたキノコは町内販売事業所を通して、イベントなどで販売を行ない、町内産物の取扱量の増加を目的として取り組まれています。

今年度は、30ある単位クラブのうち、太田老人クラブ若柳会（深澤廣見会長）と白木野共楽会（髙橋美通会長）の2クラブがこの活動に取り組んでおり、費用は町からの補助金約17万円で事業が行われます。このうち太田老人クラブ若柳会では、6月13日に植菌作業が行われ、一つひとつ丁寧に作業が行われました。

太田老人クラブ若柳会の植菌作業の様子

人権擁護委員に和泉昭さん再任

人権擁護委員
和泉　昭さん
（鍵飯）

人権擁護委員に和泉昭さん(63)が法務大臣から委嘱されました。和泉さんは再任となり、任期は今年7月1日から3年間です。

人権擁護委員は、国民の基本的人権が侵犯されることのないように監視し、侵犯された場合はその救済のため適切な処理をする仕事をしています。また自由人権思想の普及高揚に務めることを使命としています。

相談は無料で、秘密は厳守されます。自宅や電話での相談にも応じています。

和泉さんのほか、髙橋信男さん（湯之沢）、藤原忠正さん（川尻）、髙橋千賀子さん（川舟）も在職中です。お気軽にご相談ください。

◆**問い合わせ先**／**町民課☎85―2111**

●風しん予防接種費用を助成します●

ここ数年、首都圏や関西圏で風しんが流行し、特に今年は昨年を大きく上回る勢いで患者数が増えています。

風しんは、風しんウイルスによっておこる発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とする疾患で、患者の咳やくしゃみといった飛沫感染により人にうつります。風しんの怖いところは、風しんの免疫のない女性が妊娠初期に風しんにかかると、風しんウイルスがおなかの赤ちゃんに感染し、赤ちゃんが難聴や心臓疾患、白内障や緑内障など先天性風しん症候群（CRS）と総称される障がいを引き起こすことがあります。

町は、今年度から平成27年度までの3年間、風しんの流行および先天性風しん症候群の発生予防を目的に、風しんの予防接種を受けた人に対し接種費用の助成を行います

予防接種を受けた後は、速やかに申請してください。

【対象者】町内に住所を有する小学1年生から49歳までの人を対象としますが、次の人は除かれます。

①現在妊娠している人または妊娠している可能性のある人

②風しんに罹ったことのある人、風しん予防接種を2回受けたことのある人

【接種期間】平成25年4月1日～平成28年3月31日

【申請期間】平成25年7月11日～平成28年3月31日（閉庁日の申請は受け付けません）

平成25年度中に接種した人は、平成26年4月10日までに申請してください。

【助成額】①風しん単抗原ワクチン接種の場合　三千円

②麻しん風しん混合ワクチン接種の場合　六千円

【助成方法】対象者またはその保護者は「西和賀町風しん予防接種費用助成申請書」に次の書類を添えて、保健福祉課または税務会計課に申請して下さい。

①対象者名および予防接種名が記載された医療機関発行の接種費用領収書

②母子健康手帳、医療機関発行の予防接種済証明書など予防接種を受けた事が確認できる書類

【その他】申請書は、湯田庁舎税務会計課、沢内庁舎保健福祉課に備えています。また、町のHPからダウンロードできます。

◆**問い合わせ先**／**保健福祉課☎85―3411**

国保の各種証の更新時期です
～毎年7月末が有効期限～

◎高齢受給者証◎

高齢受給者証（以下、受給者証）は、70歳以上75歳未満の国保の被保険者に交付されます。所得に応じた医療費の自己負担割合が記載されていますので、大切に保管し、お医者さんにかかるときには必ず持参して、保険証と一緒に窓口に提示してください。

この受給者証は、毎年7月末が有効期限となっていますので、新しい受給者証は7月中に該当者に郵送します。新しい受給者証が届いたら記載内容に間違いがないかを確認し、古い受給者証は記載内容がわからないように細かく裁断するなどして各自で破棄してください。

国民健康保険高齢受給者証

交付年月日 平成25年 8月 1日

記号番号		000-0000
世帯主	住所	岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71
	氏名	西和賀 太郎 (男)女
対象被保険者	氏名	西和賀 太郎 (男)女
	生年月日	昭和○○年○○月○○日
一部負担金の割合		2割（平成26年3月31日まで1割）
発効期日		平成25年 8月 1日
有効期限		平成26年 7月 31日
保険者番号並びに保険者の名称及び印		030650 西和賀町

受給者証は白色です

◎限度額適用認定証◎

70歳未満の国保の被保険者は、「限度額適用認定証」（以下、認定証）を医療機関の窓口に提示すると、一か月ごとの医療費が高額になった場合でも、支払う金額が世帯ごとの所得区分に応じた自己負担限度額までとなります。

また、住民税非課税世帯の場合は、入院の際の食事代が減額されます。

この認定証も、毎年7月末が有効期限となっています。引き続き認定証が必要な人や、新たに認定証が必要な人は、役場の窓口で認定証の交付申請の手続きをしてください。申請の際は、印鑑（現在認定証をお持ちの人は認定証も）をご持参ください。

なお、認定証を提示できなかった場合でも医療費が高額になったときは、役場に申請すると、限度額を超えた分が後から支給されます。

国民健康保険限度額適用認定証

交付年月日 平成25年 8月 1日

記号	000	番号 0000
世帯（組合員）主	住所	西和賀町川尻40-40-71
	氏名	西和賀 太郎 (男)女
適用者	氏名	西和賀 太郎 (男)女
	生年月日	(昭)・平 ○○年 ○○月 ○○日
発効期日		平成 25年 8月 1日
有効期限		平成 26年 7月 31日
適用区分		B
保険者番号並びに保険者の名称及び印		030650 西和賀町

認定証はクリーム色です

後期高齢者医療被保険者証が更新されます
平成25年度保険料額が決定しました

◎被保険者証◎

現在お持ちの後期高齢者医療（75歳以上の医療保険）の被保険者証は有効期限が平成25年7月31日までです。8月1日から使用する新しい被保険者証を7月下旬に送付します。

新しい被保険者証が届いたら、記載内容等不備や不明な点がないかご確認ください。

後期高齢者医療被保険者証

有効期限 平成26年 7月31日

被保険者番号		00000000
被保険者	住所	和賀郡西和賀町川尻40-40-71
	氏名	西和賀 太郎 男
	生年月日	昭和13年 7月 1日
資格取得年月日		平成25年 7月 1日
発効期日		平成25年 8月 1日
交付年月日		平成25年 8月 1日
一部負担金の割合		1割
保険者番号並びに保険者の名称及び印		39033667 岩手県後期高齢者医療広域連合

後期被保険者証は水色です

また、有効期限を過ぎた古い被保険者証は各自で個人情報がわからないように細かく裁断するなどして破棄してください。

◎保険料額決定通知書◎

平成25年度の保険料額が決定しましたので、保険料額決定通知書を送付しています。

保険料の額については、平成24年中の所得を基に算定されています。

現在、年金から納付（特別徴収）をしている方で、口座振替での納付を希望する方は納付方法を変更することが出来ますので役場窓口までご相談ください。

◆問い合わせ先／医療保健室 ☎85－3414

劇団前進座「あなまどい」公演

東京都の劇団前進座による時代劇「あなまどい」が銀河ホールで上演されます。笑いあり、涙ありの感動の本格時代劇として非常に評価が高い作品です。前売券は下記の場所で販売中です。お早目にお買い求めください。

●日時／平成25年8月17日(土)
13時30分～開場　14時～開演
●会場／銀河ホール
●入場料／一般2000円（当日2500円）
小中高生500円（当日同額）
●前売券販売所／銀河ホール・味処いろり・湯夢プラザ・巣郷いこいの家・珈琲やまもと・ヤマザキショップ・サロンド愛・丑の湯・みなみかわ商店・佐井商店・六戸商店・猿橋商店・丸善商店・北村商店

※この公演は、宝くじの助成を受けて実施するものです。

●問合先／銀河ホール ☎82-3240

入札執行状況

町では次のとおり入札を行いました。施工箇所の詳細などは担当課までお問い合わせください。

工事名は一部省略して記載しています。落札率は、税抜きの予定価格と税抜きの請負額から計算しています。

また、契約額は税込みの金額を表示しています。

問い合わせ先／
総務課　管財防災グループ　☎82-3281

＜5月17日執行分＞

番号／1（沢内病院）
事業名／西和賀町立病院建設工事
場所／大野
内容／病院棟4635㎡、機械棟465㎡ほか
契約者／（株）銭高組東北支店
契約額／1740百万円
工期／議会の議決を経てから5日以内から平成26年6月30日
落札率／随意契約

＜5月28日執行分＞

番号／2（建設課）
事業名／除雪機械整備事業（除雪ドーザ13ｔ級）
場所／湯田
内容／13ｔ級車輪式１台
契約者／コマツ岩手（株）花北営業所
契約額／1402万円
工期／5.31～11.29
落札率／61.0

番号／3（建設課）
事業名／除雪機械整備事業（除雪ドーザ16ｔ級）
場所／太田
内容／16ｔ級車輪式１台
契約者／（株）KCMJ盛岡営業所
契約額／2394万円
工期／5.31～H26.2.28
落札率／92.0

番号／4（建設課）
事業名／除雪機械整備事業（ロータリ除雪車）
場所／中村
内容／13ｔ級車輪式１台ロータリ装置付
契約者／不調

番号／5（建設課）
事業名／湯田簡易水道統合整備事業実施設計等業務委託（H26以降）
場所／左草ほか
内容／設計業務一式、測量業務一式ほか
契約者／新日本設計（株）東北支社
契約額／4830万円
工期／5.31～H26.3.20
落札率／92.5

番号／6（学務課）
事業名／沢内小学校昇降口屋根防水改修工事
場所／泉沢
内容／シート防水改修工事一式ほか
契約者／マルエス工業（株）
契約額／273万円
工期／5.31～7.31
落札率／76.0

番号／7（建設課）
事業名／町道下村線局部改良工事
場所／川舟
内容／アスファルト舗装工24㎡ほか
契約者／竹沢工務店
契約額／84万円
工期／5.31～7.19
落札率／97.6

番号／8（建設課）
事業名／町道大木原線貝沢橋橋梁補修工事
場所／貝沢
内容／橋長14m、橋面防水工56㎡ほか
契約者／（有）鎌田組
契約額／761万円
工期／5.31～9.1
落札率／96.2

番号／9（建設課）
事業名／町道安ヶ沢線道路災害復旧工事工事
場所／川舟
内容／復旧延長237.5m、舗装工904㎡ほか
契約者／（株）田中建設
契約額／1003万円
工期／5.31～9.5
落札率／92.1

番号／10（建設課）
事業名／戸別浄化槽設置（その２）工事
場所／弁天、左草、越中畑
内容／7人槽3基
契約者／（有）高橋重機
契約額／298万円
工期／5.31～8.23
落札率／71.0

番号／11（生涯学習課）
事業名／青年女性会館公共下水道接続工事
場所／大田
内容／下水道接続工事一式
契約者／（有）佐々木設備
契約額／130万円
工期／5.31～8.28
落札率／80.0

番号／12（建設課）
事業名／町道下前1号線舗装補修工事
場所／下前
内容／施工延長107m、アスファルト舗装工536㎡ほか
契約者／（有）高幸建設
契約額／294万円
工期／5.31～7.15
落札率／96.6

番号／13（建設課）
事業名／町道貝沢幹線C線防雪柵設置工事
場所／貝沢
内容／吹払柵376m、防雪柵基礎101基ほか
契約者／（株）田中建設
契約額／5513万円
工期／5.31～11.24
落札率／96.8

番号／14（学務課）
事業名／沢内小学校オイルタンク設置工事
場所／泉沢
内容／オイルタンク工事ほか
契約者／（株）田中建設
契約額／441万円
工期／5.11～7.31
落札率／98.1

＜7月2日執行分＞

番号／15（建設課）
事業名／町道区画線設置工事
場所／全域
内容／センターライン1430m、サイドライン5160mほか
契約者／（株）イクルス
契約額／116万円
工期／7.5～8.13
落札率／97.3

番号／16（町民課）
事業名／町火葬場建設用地地質調査業務委託
場所／鍵飯
内容／調査ボーリング4ヶ所
契約者／旭ボーリング（株）
契約額／546万円
工期／7.5～9.2
落札率／96.5

番号／17（町民課）
事業名／ごみ収集運搬車購入事業
場所／太田
内容／塵芥車１台
契約者／岩手日野自動車（株）花北営業所
契約額／1218万円
工期／7.5～11.1
落札率／80.0

番号／18（建設課）
事業名／除雪機械整備事業（ロータリ除雪車）
場所／中村
内容／13t級車輪式1台
契約者／いすゞ自動車東北（株）岩手支社花北支店
契約額／3107万円
工期／7.5～H26.3.28
落札率／99.5

番号／19（建設課）
事業名／町道東側幹線弁天トンネル点検業務委託
場所／弁天
内容／トンネル点検一式
契約者／国際航業（株）盛岡支店
契約額／420万円
工期／7.5～12.13
落札率／93.2

番号／20（建設課）
事業名／河川台帳現況平面図作成業務委託
場所／全域
内容／現況平面図作成一式
契約者／北栄調査設計（株）
契約額／651万円
工期／7.5～H26.2.19
落札率／95.7

番号／21（建設課）
事業名／町道長瀬野線八年橋橋梁補修に伴う配水管布設替工事
場所／長瀬野
内容／配水管布設工事100m、橋梁添架工228.2mほか
契約者／（株）近藤設備
契約額／8085万円
工期／7.5～H26.2.4
落札率／95.6

番号／22（建設課）
事業名／町道下前小繋沢線道路改良工事
場所／左草
内容／施工延長660m、アスファルト舗装工3880㎡ほか
契約者／（有）菅政組
契約額／8820万円
工期／7.5～H26.2.4
落札率／96.6

番号／23（建設課）
事業名／町道長瀬野線道路改良工事
場所／長瀬野
内容／施工延長643m、舗装工3240㎡ほか
契約者／（有）高幸建設
契約額／6731万円
工期／7.5～H26.1.14
落札率／96.5

【小中学校・保育所（園）での放射線量測定結果】

（単位・マイクロシーベルト／時）

測定地点（校庭、園庭中央部）	5月10日㈮		6月7日㈮		7月5日㈮	
	地上50㎝	地上1m	地上50㎝	地上1m	地上50㎝	地上1m
川舟保育所	0.048	0.035	0.035	0.036	0.039	0.037
せんだん保育所	0.049	0.036	0.047	0.049	0.058	0.054
新町保育所	0.049	0.044	0.057	0.054	0.049	0.055
湯本保育園	0.053	0.045	0.043	0.040	0.058	0.054
川尻保育園	0.044	0.045	0.044	0.045	0.044	0.045
沢内小学校	0.048	0.045	0.051	0.047	0.047	0.056
湯田小学校	0.008	0.016	0.019	0.013	0.035	0.034
沢内中学校	0.030	0.033	0.033	0.038	0.037	0.037
湯田中学校	0.018	0.015	0.018	0.015	0.018	0.015

※10秒ごとに６回測定していますが値はその平均値です。

※測定した結果は、文部科学省・厚生労働省による「避難区域等の外の地域の学校等の校舎・校庭等の利用判断に係る暫定的考え方」に基づく屋外活動の制限の指標である3.8μSv（マイクロシーベルト）／時を下回っています。

スポーツ結果

（丸数字は順位。敬称略 総務課調べ）

◆第49回和賀地区中学校総合体育大会
（6月14～15日・北上市総合体育館ほか）（3位までの記録）
＜男子柔道＞
【団体】①沢内中学校　県大会出場
【個人】▼50キロ級②佐々木龍杜（沢内２年）**県大会出場**　▼55キロ級①柿澤龍介（沢内３年）**県大会出場**　▼60キロ級①高橋大海（沢内３年）**県大会出場**　▼66キロ級①高橋航太（沢内３年）**県大会出場**　▼73キロ級①佐々木大登（沢内３年）**県大会出場**　▼90キロ級①柿澤悠輔（沢内２年）**県大会出場**
＜ソフトボール＞
①沢内中学校　**県大会出場**

◆岩手県陸上競技選手権大会
（6月21日～6月23日・岩手県営運動公園陸上競技場）（8位までの記録）
＜一部男子＞▼5000m競歩②吉田寛典（盛岡大学１年・西和賀高卒・若畑）22分16秒29⑦吉田雅昂（西和賀高２年・若畑）24分10秒75
＜二部女子＞▼1500m①尾形美優（北上翔南高２年・川尻）5分14秒19

◆岩手県民体育大会
【陸上競技】※８位までの記録
（7月5日～7日・岩手県営運動公園陸上競技場）
＜一部男子＞▼10000m競歩①吉田琢哉（盛岡市役所・若畑）41分12秒36　**大会新**
＜二・三部共通男子＞▼5000m競歩⑦吉田雅昂　24秒27秒26
＜七部女子＞▼10000m競歩①照井貴子（盛岡二高教・長瀬野）53分45秒19
※一部男子（成年　19歳以上）、二部（少年A　17、18歳）、三部（少年B　16歳以下）、七部女子（成年　19歳以上）

◆第29回全国小学生陸上競技交流大会岩手県大会
（7月14日、岩手県営運動公園陸上競技場）
※８位までの記録
【男子】▼6年男子100m⑦加藤晴己（湯田クラブ・湯田小・湯之沢）13秒67　▼5、6年共通ソフトボール投げ⑦小田島海成（湯田クラブ・湯田小６年・湯本）55m43

◆第50回東北地区高等学校専門学校体育大会仙台大会
（7月5日、宮城県・仙台市陸上競技場）
＜男子＞▼400m④為田桂太朗（一関高専２年・新町）52秒80　▼4×400mリレー②一関高専（為田選手出場）3分30秒79

◆第29回西和賀町郵便局長杯かんぽさなぶりゲートボール大会
（6月26日、志賀来ドーム）
①弁天（高橋幸一、高橋淑子、高橋キヌ子、柿澤一男、柿澤典生）５勝０敗②猿橋（和泉重栄、和泉セツ、米沢安子、藤田ミヤ、米沢ヨリ）４勝１敗③新町（高橋貞夫、照井文男、伊勢郁、深澤ツメ子、有馬ハナ）３勝１敗④槻沢３勝１敗⑤前郷２勝３敗⑥川尻２勝２敗⑦川舟１勝４敗⑧太田０勝５敗（同勝敗の順位は得失点差による）

◆第87回志賀来ドーム愛好会ゲートボール大会
（7月5日、志賀来ドーム）
①こまち（横手市）3勝1敗②不来方（盛岡市）3勝1敗③雫石（雫石町）3勝1敗④旭ヶ丘（北上市）3勝1敗⑤笠松（北上市）2勝2敗⑥あすなろ（北上市）2勝2敗⑦竜馬（美郷市）⑧才の羽々（北上市）2勝2敗⑨槻沢（南川賢一、南川真喜子、竹沢房子、小林ハツエ、高橋ミヤノ）2勝2敗⑩川尻（真壁クミ子、菅野タカ子、高橋節子、竹沢光子、高橋直輔）2勝2敗⑪藤原の郷（奥州市）⑫猿橋新町（照井文男、和泉重栄、伊勢郁、和泉セツ、藤田ミヤ）⑬前郷弁天（内記健一、内記陽子、高橋キセ、高橋幸一、高橋淑子）1勝3敗⑭一里塚（北上市）1勝3敗（同勝敗の順位は得失点差による）

シニアパワー全快！スポーツ大会で大活躍

６月28日、第７回西和賀町シニアスポーツ大会が湯田農業者トレーニングセンターで行われました。約130人の選手が集い、スリッパ飛ばしや血圧リレーのほか、県大会に繋がる種目であるボール送りリレーやゲートボールリレー、ボール運びリレーなど10種目で勝敗を競い合いました。その結果、猿橋以北の地区で構成された沢内Ｂチームが見事優勝を勝ち取りました。

また、７月９日には第７回北上地区いきいきシニアスポーツ大会が行われました。町の大会の結果をもとに選出された選手が、町の代表として出場しました。町の大会で行なわれた種目のほか100mや60m徒競争なども加わり、熱戦が繰り広げられました。その結果、総合で湯田地域で構成された西和賀Ｂチームが見事大会２連覇を達成、沢内地域で構成された西和賀Aチームも４位入賞、個人種目でも好成績を納めました。

ボール送りリレーはチームワークが大切

◆第７回西和賀町シニアスポーツ大会
（6月28日、湯田農業者トレーニングセンター）
①沢内Ｂ（猿橋地区以北）②沢内Ａ（太田地区以南）③湯田Ｂ（旧湯本小学区）④湯田Ａ（旧川尻小・旧越中畑小学区）

◆第７回北上地区いきいきシニアスポーツ大会
（7月9日、北上総合運動公園陸上競技場補助競技場）※６位までの記録
＜総合＞①西和賀Ｂ④西和賀Ａ
＜男子＞▼100m（65歳以下）①熊沢一夫（西和賀B・左草）14秒42②小田島幹夫（西和賀B・細内）14秒55　▼100m（66歳以上）①梅川良一（西和賀B・川尻）14秒53②熊沢一郎（西和賀B・左草）15秒28
＜女子＞▼60m（65歳以下）①高橋美智子（西和賀B・川尻）9秒61③三又静英（西和賀A・太田）10秒88⑥高橋弘子（西和賀A・泉沢）11秒49　▼60m（66歳以上）③高橋静子（西和賀B・川尻）11秒17
＜団体＞▼ボール送りリレー④西和賀B　▼ゲートボールリレー①西和賀A②西和賀B　▼ボール運びリレー②西和賀B⑥西和賀A　▼長寿リレー①西和賀B⑤西和賀B
※西和賀Aは沢内地域、西和賀Bは湯田地域で構成されているチーム

惜しくも初戦敗退　西和賀高校・宮古北高校連合チーム

西和賀高校野球は、第95回全国高校野球選手権記念大会に沿岸北地区の宮古北高校野球部と連合チームを組み、大会に出場しました。

同連合チームは７月16日に八幡平球場で花北青雲高校と対戦しましたが、結果は惜しくも０対10（６回コールド）で敗れました。

しかし、約３ヵ月の短い期間で合同での練習等は週末のみという厳しい条件の中、両校の選手たちは力を出し切り全力でプレーしました。

部員数は西和賀高校５人、宮古北高校は７人。両合同チームは第60回春季東北地区高校野球県大会にも沿岸北地区予選に出場し、１勝を挙げています。

練習試合で試合開始を待つ両校の選手たち
（６月30日・北上市内）

道路や水路などの管理は協力体制で

アドプト協定による環境整備

地域の共有財産を連携して守ります

町とにしわが建設会（菅原政一会長）、西和賀土地改良区（為田収一理事長）の３者は、地域の共有財産である農業用水路の清掃・緑化活動等を協働で行うことにより、農業用水利施設等への愛着心を深め、利用者のマナー向上と清潔で快適な地域づくり推進を図るための協定（アドプト協定）を結んでいます。

この協定による草刈り作業が６月27日、にしわが建設会が中心となり行われました。協定を結んでいる弁天地区の区間およそ１㎞の水路敷地の草刈りやゴミ拾いを行い、整備を行いました。アドプト制度とは、道路・水路等の公共施設の一部の区域や区間を「養子」とみなして、住民、団体、企業等が「里親」となり、「養子」となった施設の一部（区域等）を責任をもって保守管理していく制度です。（アドプト⇔養子縁組）

トイレ掃除で心と気持ちを磨く

岩手掃除に学ぶ会

岩手掃除に学ぶ会（又川俊二代表世話人）は６月29日、会員ら40人が役場湯田庁舎を訪れ、同庁舎のトイレ清掃を行ないました。

この活動は、昨年、役場職員や町第三セクターに勤務する職員などを対象にして行なった人材育成研修に又川さんが講師を務めたことがきっかけで、借りたトイレを磨きながら、自らの心も磨くことを目的に行われました。

清掃は、１階から３階までの男女トイレに分かれ、これまで掃除をする中で厳選された洗剤や道具を使い、便器や天井、排水溝など約３時間かけて行われました。終了後は、班ごとに反省会も行なわれ、謙虚さや気づき、感謝の気持ちが醸成されました。

一心に便器を磨きます

どんな仕事しているの?

湯田小学生が庁舎見学

屋上へ登り周辺施設の確認を

湯田小学校（白石健也校長）の３年生20人は７月１日、校外学習・社会科見学の一環として、役場の見学に訪れました。

この学習は、自分達が暮らしている町の施設などを調べ、地域社会に親しもうとする態度の育成を目的に行なわれており、役場のほか、悠々館やほっとゆだ駅、川尻郵便局など５箇所の見学を行ないました。

湯田庁舎を訪れた児童たちは、役場の仕事内容などの説明を受けた後、庁舎内の見学を行いました。町長室へ入ったり、各課を回り実際に仕事をしている様子を見学。質問の回答や説明された内容はしおりにメモするなど熱心に学習していました。

緑濃い錦秋湖周辺を散策

錦秋湖あやめウォーク

７月７日、西和賀ウォーキング協会（佐藤政信会長･新町）が主催する「錦秋湖あやめウォーク」が、県内外から約100人が参加して行われました。

今年で５回を数える同ウォークは、朝までの雨で開催が危ぶまれましたが、開始からは雨にもあたらず、緑濃い錦秋湖周辺を巡り、湖に映える緑を満喫しました。特にも、貯砂ダムの上部から幅50mにわたって流れ落ちる「水のカーテン」は、数日の雨で水量が多く迫力満点で、大きな歓声が上がっていました。

参加者は、約10㎞のコースを歩き、心地よい汗を流した後、足湯や温泉に浸かるなどし、疲れを癒していました。

会話を景色を楽しみながらのウォーク

税務会計課からのお知らせです。

「税金の納付は納期限内に」
～町税や保険料は町が皆さんに行政サービスを提供するための大切な財源です。～

多くの皆さんは厳しい経済状況の中でも納期限内に税金（町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）や保険料（介護保険料、後期高齢者医療保険料）を納めています。

しかし、病気や失業などやむを得ない理由で一時的に税金が納められず、相談される人がいる一方で、納めることができる経済状況にも関わらず納めない人や少額の分納で滞納が累積し、高額となっている滞納者も少なくありません。町は、このような滞納者、長期の少額分納者に対し、納期限内に納税している人との公平性を保つため、財産の差押え、分納額の見直しを強化しています。

また、町は、専門的に滞納整理を行う「岩手県地方税特別滞納整理機構」に加入しており、町の納税催告に応じない場合は、事務を機構に移管しています。

納付が遅れると、財産調査（勤務先への給与照会等）や財産の差押えとなる場合もあります。

納付が困難な場合は必ず納期限前に税務会計課までご相談ください。

平成24年度　滞納処分執行状況

不動産	2件
動産、有価証券	3件
預金	14件
給与、還付金等	24件
合計	43件

「岩手県地方税特別滞納整理機構」とは？

県と市町村が共同して税の滞納整理を行う組織で、事務局は岩手県庁内に設置されています。

「機構の仕事」とは？

市町村の納税催告に応じない滞納者や高額滞納者などについて、滞納処分を前提として各市町村から機構に事務が移管されます。

機構では移管された滞納者について、徹底的な財産調査や捜索、差押えを行います。

今月納めていただく税金と納期限

国民健康保険税　1期
固定資産税　2期
介護保険料　1期
後期高齢者医療保険料　1期

※納期限及び口座振替日は7月31日㈬です。

◆問い合わせ先
税務会計課　☎82－3283

かたくり日記

―――平成25年7月

西わらびの盛んな頃は雨乞いをしていましたが、7月に入ってからは晴れの日に出会うことがほとんどありません。自然の移ろいは思うに任せませんが、甘んじて受けるしかありません。

夏の風物詩、全国高校野球選手権岩手県大会に出場の「宮古北・西和賀」高校合同チームは16日、残念ながら敗れました。両校の距離170㎞を克服しての見事な戦いでした。「あっぱれ！」の賛辞を送りたい。若い彼らのこの後の人生には、幾多の難関が立ちはだかることがあると思いますが、何にも代え難い貴重な経験をしたと思います。大きな勇気をいただきました。額に輝く汗にありがとうを伝えたい。

6月23日は、「地域医療講演会&命をつなぐ復興支援コンサート」が銀河ホールで開催されました。講師の県立中部病院の北村院長先生の講話は、趣味の登山や自然観察の写真も折り込み、分かりやすい解説でとても好評でした。病気は、すべて病院に任せるのではなく、一人ひとりに責任の重さがあることを教えていただきました。被災松のヴァイオリンによるコンサートも感動的でした。大震災でおきたことを風化させずに、世代を超えて語り継ぎたいと思います。

6月29日(土)人材育成研修「トイレ掃除に学ぶ」が役場湯田庁舎で実践されました。「岩手掃除に学ぶ会」の20名の指導者に来町いただき、役場職員19名の参加で、庁舎のトイレ掃除をすることができました。「日本を美しくする会」の鍵山先生に学ぶ集まりです。その教えは、『人間の心は、そう簡単に磨けるものではありません。ましてや、心を取り出して磨くなどということはできません。心を磨くには、とりあえず、目の前に見えるものを磨き、きれいにすることです。特に、人の嫌がるトイレ掃除を長年続けていると、知らず知らずのうちに自分の心も磨かれ、浄化されるような気がします。』主宰いただきました又川先生ありがとうございます。

感謝

細井洋行

みんなのページ

「みんなのページ」は、
皆さんからの情報や
お便り、旬の情報を
紹介していくコーナーです。

雪の市民会議に参加して

雪国文化研究所研究員
小野寺　聡

7月6日に北海道ニセコ町で第8回雪の市民会議が開催されました。雪の市民会議とは、冬に積もった雪を夏に利用する「雪冷熱エネルギー」の普及と、雪国特有の資源や文化を活かした地域づくりを推進させることを目的としています。平成18年から続いている催しで、各地で雪冷熱を利用した事業に取り組む人々が、年に一度の七夕近くに集まり情報交換をするのです。

農業と観光のニセコ町
羊蹄山と広いジャガイモ畑

昨年の第7回は東京農業大学で開催され、西和賀の事例を発表しました。農協の低温貯蔵施設や志賀来ドームの雪冷房のほか、シイタケやイチゴの栽培ハウスで雪冷房を導入して生産性向上ができたことなどを紹介しています。

今年の雪の市民会議は、スキーリゾートを中心に通年リゾート地として成功しているニセコらしく、「おもてなし」をキーワードに、～雪が育む農業、雪で繋がる観光～というテーマで各地からの話題提供がありました。会場となったニセコ町民センターには、２００人を超える参加があり、半分はニセコや周辺、半分は本州からの方々でした。

開会式の挨拶で町長さんは「農業と観光の町づくりに自然・再生エネルギーを活用していく」と話され、太陽追尾式の太陽光発電や、温泉熱で発電するバイナリー発電の導入が紹介されました。また、雪冷熱エネルギーの活用に取り組む参考とするべく、各地の事例を学びたいと挨拶を結ばれました。

除雪の雪を帝国ホテルに

基調講演は、札幌の除排雪でできた巨大な雪捨て場の雪を、ＪＲのコンテナで東京の帝国ホテルに運搬して冷熱利用したプロジェクトの報告でした。この「雪のおもてなし」のきっかけは、東日本大震災の後、節電対策に取り組んだことだったといいます。

農業に関連した話題では、ジャガイモなど農産物の低温貯蔵に雪や氷を冷熱源にした話題が複数あり、なかでも洞爺湖町の佐々木ファームの発表には興味を持ちました。冬の寒気で大量に製氷して貯え、その冷熱を通年利用して作物を貯蔵し販売しているのです。

氷室などで低温貯蔵した作物は、低温順化で糖度が増えるのですが、佐々木ファームのゴボウの糖度は20度にもなるといいます。料理の鉄人というテレビ番組でも登場したこの佐々木ファームの高品質野菜の理由を聞くことができました。「低温貯蔵に取り組み始めた当初、カビや腐れに悩まされました。試行錯誤の末、化学肥料で育てたものが早く傷むことに気付きました。元気な作物は傷みにくいと言う事が分かり、今は無農薬、無化学肥料で育てています」とのことでした。

公共施設の雪冷房が増加

今回の雪の市民会議に参加して思ったのは、農業分野では、農産物の貯蔵に雪を使うのは雪国の普通の技術となり、畜産や園芸ハウスなど生産に雪冷熱を使うことが普及し始めているということでした。農業以外の分野では公共施設の雪冷房が各地で着実に増えています。これには豪雪地帯対策特別措置法が平成24年に改正され、国及び地方公共団体による雪冷熱エネルギーの活用促進が盛り込まれたことも背景にあります。また、北海道美唄市ではホワイトデーターセンター事業が進められています。インターネットなどのデーターサーバーを雪国に設置し、設備の冷却を雪で行う取り組みです。様々な新しい雪冷熱の活用方法が進む昨今ですが、西和賀の私たちは「何」を冷やしたらよいでしょう。皆で考えてみませんか。

足元に雪が残る川原種苗の氷室
植林用の苗を氷室で貯蔵して販売している

おたより随時募集

【応募内容】不思議な体験や代々言い伝わる話、自慢のペットや料理の紹介、季節の思い出などのほか、意見や要望などなんで構いません。
【応募方法】住所・氏名（匿名・ペンネーム可）・年齢・電話番号をお書き添えのうえ、ハガキ、封書、ファックス、メールなどで下記の宛先までご応募ください。
【応 募 先】〒029-5512　岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71
西和賀町役場広報係まで
ファックス番号／82-3111
電子メール／soum@town.nishiwaga.lg.jp
【そ の 他】
○応募いただきた写真や原稿などは返却しませんのであらかじめご了承ください。
○応募いただいた記事等については、広報編集委員会で検討させていただく場合があります。
○皆様からの投稿に際して取得した個人情報は、本誌の編集目的のみに使用します。

◆問い合わせ先　総務課　☎82-3281

役場から

患者輸送バスの運休のお知らせ

町で運行している患者輸送バスは、お盆期間中の8月14日(水)から16日(金)まで運休します。

●問合先／保健福祉課☎(85)3411

国や県から

自衛官を募集します

自衛隊では、次のとおり自衛官を募集します。試験日など募集種目ごとに異なりますので詳しくはお問い合わせください。

●**募集種目**／①航空学生②一般曹候補生③自衛官候補生

●**応募資格**／①高卒(見込み含む)で21歳未満②③ともに18歳以上27歳未満

●**受付期間**／8月1日(木)～9月6日(金)

●**問合先**／自衛隊北上地域事務所☎(63)6736または町民課☎(85)2111

身体障がい者を対象した県職員採用試験

岩手県人事委員会では、身体障がい者を対象とした岩手県職員採用選考試験を行います。試験日などは次のとおりですが、詳しくはお問い合わせください。

●**受付期間**／7月22日(月)～8月23日(金)

●**試験職種**／一般事務

●**一次試験日**／9月22日(日)

●**試験会場**／岩手県立大学（滝沢村）

●**問合先**／岩手県人事委員会事務局☎019-629-6241

「特別警報」の発表を開始

気象庁は、8月から重大な災害の起こるおそれが著しく大きい場合に、特別警報を発表します。特別警報が発表された場合は、ただちに命を守る行動をとってください。

◆**特別警報とは**

警報の発表基準をはるかに超える現象に対して、特別警報を発表します。(例)「東日本大震災」における地震動・津波(2011年)・「平成23年台風第12号」による豪雨(2011年)

◆**特別警報が発表されたら**

避難所へ避難するか、すでに外出することが危険な場合は、家の中で安全な場所に留まるなど、身を守るために最善を尽くしてください。

発表開始は、8月30日(金)(予定)です。

●**問合先**／気象庁盛岡地方気象台防災業務課☎019-622-7870

国民年金基金に加入しませんか

国民年金基金とは、国民年金に加入している人が、ゆとりある老後を過ごすことが出来るように老齢基礎年金にゆとりをプラスする公的な年金です。

●**加入できる人**／岩手県に住所がある20歳から60歳未満の第1号被保険者と、60歳以上65歳未満の国民年金任意加入被保険者です。

●**掛金**／加入時の年齢・性別・加入のタイプによりますが、月額6万8000円以内であれば何口でも加入できます。掛金は全額社会保険料控除の対象になります。

●**問合先**／岩手県国民年金基金☎0120-65-4192

専業主婦(夫)の年金を改正

平成25年7月1日から専業主婦(※)の年金が改正され、サラリーマンの夫が退職した際などに年金の切り替えの手続きが遅れたため、保険料が未納となっている主婦が手続きすることにより、年金を受け取れるようになる場合があります。

夫が会社を退職した場合や妻自身の年収が増えたときなどは、手続き（第3号被保険者から第1号被保険者への変更届）をして保険料を納めなくてはなりませんが、この手続きが2年以上遅れたことのある人は、2年以上前の保険料を納付することができないため、保険料の「未納期間」が発生します。

このたび、専業主婦の年金が改正され、このような人が手続きすることにより、「未納期間」を「受給資格期間」に算入することができるようになりました。（※妻がサラリーマン、夫が専業主夫の場合も同様です）

主婦年金からの切り替えの手続きが2年以上遅れたことのある人は、今すぐお問い合わせください。65歳以上の人は、お問い合わせが遅れると年金の受け取りも遅れます。65歳未満の人は、障害・遺族年金を受け取りやすくなります。

●**問合先**／国民年金保険料専用ダイヤル☎0570-011-050または花巻年金事務所☎0198-23-3351

その他

北上地区消防組合職員を募集

北上地区消防組合では次のとおり職員を採用します。

●**予定人員**／消防職（深夜勤務等を含む交替制勤務）4人

●**受験資格**／高校卒業（来春卒業予定を含む）以上の学歴を有し、平成2年4月2日以降に生まれた人（救急救命士資格取得者については、昭和63年4月2日以降に生まれた人）で、採用後北上市または西和賀町に居住できる人

●**1次試験日**／9月22日(日)

●**試験会場**／専修大学北上高等学校（北上市）

●**申込受付期間**／7月12日(金)～8月12日(月)

●**申込書提出先**／北上市消防組合消防本部総務課まで持参または郵送。郵送の場合は最終日の当日消印有効

●**問合先**／北上市消防組合消防本部総務課☎(65)5172

「西和賀ぶらり旅」写真募集

西和賀町観光協会では、町の魅力を伝えるため、四季ごとの案内マップ「西和賀ぶらり旅」を作ることになりました。皆さんからお寄せいただいた写真の中から四季ごとに10点を選んでマップに掲載いたします。「どこにも無い四季と湯の里」西和賀らしい「他にはない景色！」「この場所を是非見ていただきたい！」という写真の応募をお待ちしております。

●**応募資格**／年齢、経験（プロ・アマ）は問いません。
●**応募方法**／①JPEG形式写真データでの応募（携帯、スマートフォンからも応募可）②プリント写真での応募
※応募方法や規格等についての詳細はお問い合わせください。
●**応募締切**／①「夏」の部（6～8月）8月25日(日)②「秋」の部（9～11月）11月25日(月)③「冬」の部（12～2月）平成26年2月25日(火)④「春」の部（3～5月）平成26年5月25日(日)
●**問合先**／西和賀町観光協会 ☎(81)1135
●**西和賀町観光協会ホームページ**／http://www.yamanoideyu.com/

湯本室内温泉プール臨時営業

湯本室内温泉プールは、夏休みに伴い下記の期日は臨時営業します。
●**臨時営業日**／7月29日(月)、8月5、12、19（いずれも(月)）
●**営業時間**／10時～17時（最終受付は16時20分）
●**問合先**／湯本室内温泉プール ☎(82)3794

野外音楽ライブ、今年も開催

町内の若者の手による野外音楽イベント「グリーンマウンテン」。今年で4回目を迎えます。この自然豊かな西和賀町で、音楽を愛する人々が集まり、日頃の練習の成果を表現し、音楽シーンを盛り上げます。小さなお子さんやお年寄りまで、誰もが気軽に参加でき楽しく、そして熱い・熱い音楽イベントです。このイベントで暑い夏が、さらにホットになりますよ。
●**日時**／7月28日(日)12時～
●**場所等**／焼地台公園特設ステージ
●**その他**／入場無料。縁日、屋台コーナーもあります
●**ホームページ**／http://www.nishiwaga-music.com/greenmountain2013
●**問合せ**／GM実行委員会事務局小林（湯本）☎080-8211-7503

求職者支援訓練等のお知らせ

北上職業訓練協会では、求職者支援訓練ならびに短期訓練を次のとおり行ないます。

【小型移動式クレーン運転技能講習会】
●**訓練期間**／8月28日(水)～8月30日(金)（28、29日）9時～17時10分（30日）8時～17時30分
●**募集締切日**／8月9日(水)
●**定員**／20人
●**受講料**／2万6250円（テキスト代1600円別納）
●**訓練場所**／北上高等職業訓練校

「OA経理基礎科」（3ヶ月コース）
●**訓練期間**／9月27日(金)～12月26日(木) 9時～15時50分（訓練期間54日）
●**募集締切日**／9月5日(木)
●**定員**／15人
●**選考日**／9月12日(木)9時30分～
●**結果通知日**／9月17日(火)郵送により
●**受講料**／無料（ただし、テキスト代1万2075円は自己負担）
●**訓練場所**／北上高等職業訓練校
●**申込先**／ハローワーク北上☎(63)3314
●**問合先**／職業訓練法人北上職業訓練協会☎(81)5577

戸籍の窓

（敬称略）　6月16日～7月15日受付分

※掲載を希望しないこともできます。届け出の際にお申し付けください。

末永くお幸せに

高橋能史（耳取）・高橋裕美（北上市）
高橋将人（新町）・岩井川路子（下前）
新田博樹（長瀬野）・佐々木裕子（石巻市）

ご誕生おめでとうございます

新田　樹（いつき）（男）　豊　両沢

お悔やみ申し上げます

赤坂祐三（88歳）6月16日　湯本
藤原佳一（83歳）7月2日　若畑
髙橋アツ（85歳）7月4日　湯川
髙橋　勲（88歳）7月8日　川尻
菊池孝子（74歳）7月9日　川尻

住民の動き（6月分）

項目	実数	前月との比較
転入	6	＋1
転出	20	＋5
出生	18	－3
死亡	9	＋1
人口	6,495	－21
男	3,032	－12
女	3,463	－9
世帯数	2,430	－4

交通事故の状況（6月分）

区分	物損	人身	負傷	死亡	飲酒
実数	8	1	0	0	0
累計	(100)	(5)	(0)	(0)	(0)

（　）は1月からの累計

火災・救急の状況（6月分）

■火災

区分	火災出場件数
件数	2件（5件）

■救急

区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	1件（8件）	14件（66件）	10件（76件）	25件（150件）
搬送人員	1人（9人）	10人（59人）	9人（71人）	20人（139人）

（　）は1月からの累計

もう学校になれたかな

湯田小学校１年生

４月に小学校に入学した
１年生を紹介します。

湯田小学校の１年生は、男子13人、女子11人、計24人です。学校で１番人数が多くとても元気なクラスです。入学して３ヶ月、みんなはりきって活動しています。特に図工の工作や体育は大好きで楽しみにしています。けんかをすることもあるけれど、みんななかよしです。どうぞよろしくお願いします。

にしわが再発見

「あやめ園と水のカーテン」

錦秋湖湖畔の川尻総合公園のあやめ園は、かつて最盛期には１２０種類のあやめが１０万本以上咲いていたそうです。現在は本数的には少なくなっているようですが、色とりどりのあやめ達が艶やかに咲いていました。

駐車場から歩いて３分ほどで、湯田貯砂ダムがあります。ダムの内部には通路が設けてあり、ダム上部を通る水の流れはまるで「水のカーテン」。

当日はここ何日かの大雨の影響で通路が閉鎖となっていましたが、暑い季節に一時の清涼感を味わってみてはいかがでしょう。

（広報編集委員　高橋　定雄）

広報編集委員が町内を駆け回り、「にしわが」の今をお伝えします。

編集後記

７月に入ってからの長雨は降る量が半端でありませんでした。高校野球が数日順延され、本町で開催されていて歴史ある北上線沿線野球大会も中止となりました。銀河高原雪氷まつりも天気がよければもっともっと来場者があっただろうと勝手に思ってしまいます。自然には逆らえませんが、心が晴れない７月でした。　広報担当　東　清彦

広報 にしわが
■発行日／平成25年7月25日（毎月25日発行）
■編集・発行／〒029-5512 岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71 西和賀町役場総務課 電話0197-82-2111 FAX0197-82-3111
■発行人／細井洋行　■編集人／高橋　智　■印刷／鶴田印刷株式会社・横手市
VEGETABLE OIL INK